

平成29年度

新川広域圏事務組合  
一般会計決算審査意見書

新川広域圏事務組合監査委員

平成30年6月27日

新川広域圏事務組合

理事長 村 椿 晃 様

新川広域圏事務組合  
監査委員 米 澤 憲二郎

新川広域圏事務組合  
監査委員 西 岡 良 則

平成29年度新川広域圏事務組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成29年度新川広域圏事務組合一般会計の歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、その結果について意見を提出します。

## 平成29年度新川広域圏事務組合一般会計決算審査意見書

### 1 審査の対象

- (1) 平成29年度 新川広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 附属書類
  - 平成29年度 新川広域圏事務組合歳入歳出決算事項別明細書
  - 平成29年度 新川広域圏事務組合実質収支に関する調書
  - 平成29年度 新川広域圏事務組合財産に関する調書

### 2 審査の期日と場所

- 期日 平成30年6月27日
- 場所 新川広域圏事務組合 事務局会議室

### 3 審査の方法

審査は、平成29年度新川広域圏事務組合歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

### 4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

### 5 決算収支状況

平成29年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

- 歳入 18億4,404万1千円（予算対比97.7%、前年度対比117.3%）
- 歳出 17億7,855万5千円（予算対比94.2%、前年度対比119.0%）

この差引額（形式収支）6,548万5千円から、翌年度に繰り越すべき財源466万5千円を差し引いた実質収支は6,082万円の黒字となっている。当年度実質収支から前

年度実質収支を差し引いた当年度の単年度収支は1,355万2千円の赤字となっている。

前年度決算額と比較して歳入で2億7,150万1千円（17.3%）、歳出で2億8,448万8千円（19.1%）それぞれ増となっている。増加の主な理由は、平成29年度に、ビニ・プラ類専用ライン増設工事を開始したためである。

### 決 算 収 支 状 況

（単位：円）

年度	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
29年度	1,844,041,109	1,778,555,906	65,485,203	4,665,000	60,820,203	74,372,594	△13,552,391
28年度	1,572,540,039	1,494,067,445	78,472,594	4,100,000	74,372,594	50,964,162	23,408,432
増減	271,501,070	284,488,461	△12,987,391	565,000	△13,552,391	23,408,432	△36,960,823

#### （1）歳 入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
29年度	1,888,029,000	1,857,996,962	1,844,041,109	0	13,955,853	97.7	99.3
28年度	1,551,462,000	1,586,495,892	1,572,540,039	0	13,955,853	101.4	99.1

##### ① 収入状況

予算現額に対する収入割合は97.7%であり、前年度の収入済額と比較して、2億7,150万1千円、17.3%の増となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は11億7,887万3千円で全体の63.9%を占めている。使用料及び手数料が2億8,198万6千円で15.3%、県支出金が351万6千円で0.2%、財産収入が223万4千円で0.1%、繰越金が7,847万2千円で4.3%、諸収入が4,335万8千円で2.3%、組合債が2億5,560万円で13.9%、となっている。

また、調定額に対する収入割合は99.2%で、収入未済額は1,395万6千円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

## 収 入 状 況

(単位：円)

区分	予算現額	調定額	収 入 済 額				不納 欠損額	収入 未済額
			金額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及 び負担金	1,178,873,000	1,178,873,000	1,178,873,000	63.9%	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及 び手数料	278,981,000	281,986,142	281,986,142	15.3%	101.1	100.0	0	0
3. 県支出金	3,516,000	3,516,000	3,516,000	0.2%	100.0	100.0	0	0
4. 財産収入	2,235,000	2,234,706	2,234,706	0.1%	99.9	100.0	0	0
5. 繰越金	78,472,000	78,472,594	78,472,594	4.3%	100.1	100.0	0	0
6. 諸収入	27,852,000	57,314,520	43,358,667	2.3%	155.7	75.7	0	13,955,853
7. 組合債	318,100,000	255,600,000	255,600,000	13.9%	80.4	100.0	0	0
計	1,888,029,000	1,857,996,962	1,844,041,109	100.0	97.7	99.2	0	13,955,853

### ② 財源構成

歳入総額を分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰越金、諸収入からなる自主財源と、県支出金、組合債からなる依存財源に分類してみると、自主財源は15億8,492万5千円、依存財源は2億5,911万6千円となっており、その構成比は、自主財源85.9%(前年度96.0%)、依存財源14.1%(前年度4.0%)と、自主財源が構成比で前年度から10.1ポイント低くなっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源64.2%(前年度72.1%)、特定財源35.8%(前年度27.9%)と一般財源の占める割合が7.9ポイント低くなっている。

### 過去2カ年の財源別状況

(単位：千円)

	決算額		構成比率		前年度対比	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
自主財源	1,584,925	1,510,714	85.9%	96.0%	104.9%	50.0%
依存財源	259,116	61,826	14.1%	4.0%	419.1%	8.5%
計	1,844,041	1,572,540	100.0%	100.0%	117.3%	50.9%
一般財源	1,182,973	1,133,594	64.2%	72.1%	104.3%	109.6%
特定財源	661,068	438,945	35.8%	27.9%	150.6%	21.3%

## 第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	1,178,873,000	1,178,873,000	1,178,873,000	0	0	100.0	100.0%
28年度	1,082,630,000	1,082,630,000	1,082,630,000	0	0	100.0	100.0%

収入済額は11億7,887万3千円で、前年度から9,624万3千円、8.9%増加している。増加の主なものは、エコぼ〜と分担金5,561万円、宮沢清掃センター分担金7,480万3千円である。

一方、減少の主なものは、組合経常分担金2,381万6千円である。

歳入総額に占める割合は63.9%(前年度68.9%)で、前年度から5ポイント低くなっている。

収入済額の内訳は、各市町からの分担金11億6,515万8千円(98.8%)、救急医療負担金1,371万5千円(1.2%)となっている。分担金及び負担金の目的別収入状況は、別表第1のとおり、分担金収入明細書は、別表第2のとおりとなっている。

## 第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	278,981,000	281,986,142	281,986,142	0	0	101.1%	100.0%
28年度	270,930,000	290,339,465	290,339,465	0	0	107.2%	100.0%

収入済額は2億8,198万6千円で、前年度から835万3千円、2.9%減少している。減少の主なものは、ごみ処理手数料186万9千円、ごみ袋等交付手数料599万6千円となっている。歳入総額に占める割合は15.3%(前年度18.5%)で、前年度から3.2ポイント低くなっている。

収入済額の主な内訳は、斎場使用料1,645万1千円、ごみ処理手数料1億197万7千円、ごみ袋等交付手数料1億6,251万5千円、し尿処理手数料81万8千円等となっている。

### 第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	3,516,000	3,516,000	3,516,000	0	0	100.0%	100.0%
28年度	3,526,000	3,526,000	3,526,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は351万6千円で、前年度から1万円、0.3%減少している。

歳入総額に占める割合は0.2%（前年度0.2%）である。

収入済額の内訳は、病院群輪番制病院運営費補助金351万6千円となっている。

### 第4款 財産収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	2,235,000	2,234,706	2,234,706	0	0	100.0%	100.0%
28年度	1,200,000	1,200,031	1,200,031	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は223万4千円で、前年度から103万4千円、86.2%増加している。

歳入総額に占める割合は0.1%（前年度0.1%）である。

収入済額の内訳は、ふるさと市町村圏基金運用利子223万4千円となっている。

### 第5款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	78,472,000	78,472,594	78,472,594	0	0	100.0%	100.0%
28年度	50,964,000	50,964,162	50,964,162	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は7,847万2千円で、歳入総額に占める割合は4.3%（前年度3.2%）で、前年度から1.1ポイント高くなっている。

収入済額の内訳は、平成28年度繰越金7,847万2千円となっている。

## 第6款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	27,852,000	57,314,520	43,358,667	0	13,955,853	155.7%	75.7%
28年度	22,416,000	50,150,958	36,195,105	0	13,955,853	161.5%	72.2%

収入済額は4,335万円8千円で、前年度から716万3千円、19.8%増加している。  
歳入総額に占める割合は2.3%(前年度2.3%)で、前年度と同ポイントとなっている。

収入済額の主な内訳は、エコぼ〜と燃料代1,484万6千円、磁性物売却代金1,213万5千円、アルミ売却代金768万8千円となっている。

収入未済額は、平成20年度の宮沢清掃センターの磁性物売却代金である。

## 第7款 組合債

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
29年度	318,100,000	255,600,000	255,600,000	0	0	80.4%	100.0%
28年度	70,400,000	58,300,000	58,300,000	0	0	82.8%	100.0%

収入済額は2億5,560万円で、前年度から1億9,730万円、338.4%増加している。  
歳入総額に占める割合は13.9%(前年度3.7%)で10.2ポイント高くなっている。  
収入済額の内訳は、宮沢清掃センター一般廃棄物最終処分場最終覆土事業債8,740万円、宮沢清掃センタービニ・プラ類専用ライン増設工事1億6,820万円となっている。

## (2) 歳 出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
29年度	1,888,029,000	1,778,555,906	4,665,000	104,808,094	94.2%
28年度	1,551,462,000	1,494,067,445	4,100,000	53,294,555	96.3%

### ① 支出状況

予算現額に対する執行率は94.2%であり、前年度の96.3%から2.1ポイント低くなっている。支出済額は17億7,855万6千円で、前年度から2億8,448万9千円、19.0%増となっている。

減少の主なものは、一般管理費6,156万2千円などである。

一方、増加の主なものは、エコぽ〜と管理費3,423万6千円、宮沢清掃センター管理費2億7,154万6千円、公債費元金5,046万7千円などである。

決算額を性質別（構成比）にみると、義務的経費では、人件費で2億3,831万8千円（13.4%）、扶助費244万5千円（0.1%）、公債費2億7,640万6千円（15.6%）で、義務的経費全体では5億1,716万9千円となり、決算総額の29.1%を占めている。投資的経費は、普通建設事業費3億6,099万円で、決算総額の20.3%を占めている。その他の経費では、物件費で7億4,448万3千円（41.9%）、維持補修費で1億563万3千円（5.9%）、補助費等で5,028万1千円（2.8%）、その他の経費全体では9億39万7千円となり、決算総額の50.6%を占めている。

性質別経費の内訳を前年度と比較すると、義務的経費では人件費で1,265万6千円、5.0%減、扶助費で29万5千円、10.8%減、公債費で4,857万6千円、21.3%増となっており、義務的経費全体では、3,562万5千円、7.4%増となっている。投資的経費では、2億7,917万円、341.2%増となっている。その他の経費では物件費で9,612万3千円、1.3%増、維持補修費で716万4千円、7.3%増、補助費等で230万4千円、4.8%増、繰出金で4,938万5千円皆減となっており、その他の経費全体では、3,030万6千円、3.3%減となっている。

歳出性質別経費比較

(単位：円)

	29年度	28年度
義務的経費	517,169,374	481,544,336
投資的経費	360,990,000	81,820,800
その他経費	900,396,532	930,702,309
合 計	1,778,555,906	1,494,067,445

②支出の構成

支出状況は、次の表のとおりである。

支 出 状 況

(単位：円)

区分	予算現額	支出済額			翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	1,574,000	1,202,087	0.1%	76.4%	0	371,913
2. 総務費	83,897,000	82,372,155	4.6%	98.2%	0	1,524,845
3. 衛生費	1,522,713,000	1,418,575,895	79.8%	93.2%	4,665,000	99,472,105
4. 公債費	276,845,000	276,405,769	15.5%	99.8%	0	439,231
5. 予備費	3,000,000	0	0.0%	0.0%	0	3,000,000
計	1,888,029,000	1,778,555,906	100.0%	94.2%	4,665,000	104,808,094

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	1,574,000	1,202,087	0	371,913	76.4%
28年度	1,657,000	1,173,507	0	483,493	70.8%

支出済額は120万3千円で、前年度から2万9千円、2.4%の増となり、歳出総額に占める割合は0.1%で前年度と同率となっている。

不用額は、37万2千円で、前年度から11万2千円、23%の減であり、予算現額に対する執行率は76.4%で、前年度から5.6ポイント高くなっている。

**第2款 総務費**

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	83,897,000	82,372,155	0	1,524,845	98.2%
28年度	150,701,000	142,897,179	0	7,803,821	94.8%

支出済額は8,237万3千円で、前年度から6,052万5千円、42.4%の減なり、歳出総額に占める割合は4.6%で前年度から5ポイント低くなっている。

支出済額の主なものは、一般管理費8,002万2千円(6,156万2千円減)、企画費23万5千円(103万5千円増)、監査委員費11万5千円(3千円増)となっている。

不用額は、152万5千円で、前年度から627万9千円、80.5%の減であり、予算額に対する執行率は98.2%で、前年度から3.4ポイント高くなっている。

**第3款 衛生費**

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
29年度	1,522,713,000	1,418,575,895	4,665,000	99,472,105	93.2%
28年度	1,169,190,000	1,122,166,872	4,100,000	42,923,128	96.0%

支出済額は14億1,857万6千円で、前年度から2億9,640万9千円、26.4%の増となり、歳出総額に占める割合は79.8%で前年度から4.7%ポイント高くなっている。

支出済額の主な内訳は、救急医療対策費4,219万9千円(11万8千円減)、西部斎場管理費3,690万6千円(136万9千円増)、東部斎場管理費2,800万8千円(269万6千円減)、エコぽ～と管理費4億309万9千円(3,423万6千円増)、宮沢清掃センター管理費6億7,201万4千円(2億7,154万6千円増)、環境対策費1億6,089万9千円(1億13万3千円減)、新川一般廃棄物最終処分場管理費3,618万4千円(452万9千円減)、クリーンぽ～と管理費3,926万7千円(226万6千円減)となっている。

翌年度繰越額466万5千円を差し引いた不用額は、9,947万2千円で、前年度に比べ5,654万8千円、131.7%の増であり、予算額に対する執行率は93.2%で、前年度から2.8ポイント低くなっている。

不用額の主なものは、宮沢清掃センター管理費9,483万4千円、クリーンぽ～と管理費366万9千円である。

#### 第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
29年度	276,845,000	276,405,769	0	439,231	99.8%
28年度	227,947,000	227,829,887	0	117,113	99.9%

支出済額は2億7,640万6千円で、前年度から4,857万6千円、21.3%の増となり、歳出総額に占める割合は15.5%で前年度から0.3ポイント高くなっている。

支出済額の内訳は、元金2億6,049万円（5,046万6千円増）、利子1140,591万6千円（189万1千円減）となっている。

不用額は、43万9千円で、前年度から32万2千円、275.0%の増であり、予算額に対する執行率は99.8%で前年度から0.1ポイント低くなっている。

#### 第5款 予備費

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
29年度	3,000,000	0	0	3,000,000	0.0%
28年度	1,967,000	0	0	1,967,000	0.0%

支出済額はなく、不用額300万円となっている。

平成28年度の当初予算は300万円だったが、環境対策費の需用費・消耗品費へ103万3千円充用した。

## 6 財産管理

### (1) 土地について

前年度末現在高165,930㎡で、本年度末現在高165,930㎡で増減はなかった。

### (2) 建物について

前年度末現在高14,967㎡で、本年度末現在高14,967㎡で増減はなかった。

### (3) 出資による権利について

前年度末現在高10万円で、本年度末現在高10万円で増減はなかった。

### (4) 物品について

本年度末現在高は小型貨物自動車ほか12品で、前年度末より増減はなかった。

### (5) 基金について

#### ① 新川地区ふるさと市町村圏基金

(単位：円)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
地 方 債	499,850,000	150,000	500,000,000
定期預金	150,000	△150,000	0
計	500,000,000	0	500,000,000

## 7 意見

### (1) 施設の維持管理等について

広域圏の各施設の老朽化が進行している中、施設の延命化とそれに係る修繕費の節減を図る必要がある。そのため、長期的な整備計画を作成し、適正な保全を行っていくように努められたい。

特に、西部斎場、東部斎場は、更新もしくは大規模改修の計画を策定していただきたい。そのうえ、地域とのコミュニケーションにも取り組み、施設の運営にも理解と協力を得られるよう、より信頼関係を深めていくよう努められたい。

### (2) 施設の安全管理等について

過去に宮沢清掃センターにおいて爆発事故が発生していることから、スプレー缶等の出し方について、引き続き広報誌等を通して周知を行うなど、爆発事故の未然防止を図られたい。

### (3) ふるさと市町村圏基金の運用について

ふるさと市町村圏基金については、これまで期間が5年の地方債で運用してきたが、29年度に満期償還に伴い運用益確保の観点から、期間が20年の地方債に買換えたところである。超長期の運用となることから、金融情勢等を的確に見極め、適切に対応されたい。

## 8 むすび

以上で平成29年度新川広域圏事務組合各会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べたが、予算の執行に際してはその重要性を認識され、事務事業についても内容の充実した執行が行われていた。

各施設の運営管理について、経費の節減等効率的、合理的運営に努力がなされていると思われるが、なお一層の効率的運営を図られ、今後も広域行政の積極的な推進に向け、地域住民の福祉向上に努力されることを併せて望むものである。

別表第1

## 分担金及び負担金の目的別収入状況

区 分	平成 29 年 度			平成 28 年 度			前 年 度 対 比	
	収入済額(円)	収入率 (%)	構成比 (%)	収入済額(円)	収入率 (%)	構成比 (%)	増減額(円)	増減率 (%)
1. 組 合 経 常 費 分 担 金	74,605,000	100.0	6.3	98,421,000	100.0	9.1	△ 23,816,000	△ 24.2
2. 救 急 医 療 対 策 費 分 担 金	24,967,000	100.0	2.1	25,038,000	100.0	2.3	△ 71,000	△ 0.3
3. 西 部 斎 場 分 担 金	20,121,000	100.0	1.7	20,674,000	100.0	1.9	△ 553,000	△ 2.7
4. 東 部 斎 場 分 担 金	17,479,000	100.0	1.5	23,665,000	100.0	2.2	△ 6,186,000	△ 26.1
5. エ コ ぼ ～ と 分 担 金	345,213,000	100.0	29.3	289,603,000	100.0	26.7	55,610,000	19.2
6. 宮 沢 清 掃 セ ン タ ー 分 担 金	562,928,000	100.0	47.9	488,125,000	100.0	45.2	74,803,000	15.3
7. 新 川 一 般 廃 棄 物 最 終 処 分 場 分 担 金	36,081,000	100.0	3.1	39,430,000	100.0	3.6	△ 3,349,000	△ 8.5
8. 旧 西 部 ・ 東 部 清 掃 セ ン タ ー 解 体 事 業 費 分 担 金	12,863,000	100.0	1.1	12,864,000	100.0	1.2	△ 1,000	0.1
9. ク リ ー ン ぼ ～ と 分 担 金	70,901,000	100.0	6.0	71,057,000	100.0	6.6	△ 156,000	△ 0.2
小 計	1,165,158,000	100.0	98.8	1,068,877,000	100.0	98.7	96,281,000	9.0
1. 救 急 医 療 負 担 金	13,715,000	100.0	1.2	13,753,000	100.0	1.3	△ 38,000	△ 0.3
合 計	1,178,873,000	100.0	100.0	1,082,630,000	100.0	100.0	96,243,000	8.9

## 分担金収入明細書

(単位：円)

市町名 分担金区分	魚津市	黒部市	入善町	朝日町	合計
1. 組合経常費分担金	24,534,871	24,108,415	16,152,615	9,809,099	74,605,000
2. 救急医療対策費分担金	8,457,843	8,291,289	5,301,338	2,916,530	24,967,000
3. 西部斎場分担金	10,261,184	9,859,816			20,121,000
4. 東部斎場分担金			10,662,726	6,816,274	17,479,000
5. エコぽ～と管理費分担金	109,049,713	113,903,494	78,168,498	44,091,295	345,213,000
6. 宮沢清掃センター分担金	182,708,273	184,836,308	125,242,850	70,140,569	562,928,000
7. 新川一般廃棄物最終処分場管理費	11,932,675	11,651,208	8,038,021	4,459,096	36,081,000
8. 旧西部・東部清掃センター解体事業費分担金			8,192,067	4,670,933	12,863,000
9. クリーンぽ～と分担金	24,235,129	19,020,778	15,465,762	12,179,331	70,901,000
合計	371,179,688	371,671,308	267,223,877	155,083,127	1,165,158,000